

●マイ文化財一覧（中央方面・上ノ国、大澗、勝山、大留、向浜、北村、内郷）

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
1	円空作 十一面観音立像	上ノ国	歴史	有形	○		○					道有形	上ノ国観音堂にある円空仏。140cmを超える大作で、北海道で一番大きい。
2	円空作 観音座像	上ノ国	歴史	有形	○		○					町有民	観音堂の十一面観音立像の横にひっそりとあり、首が取れて無くなっているが、子供に愛された観音座像である。
3	上ノ国観音堂	上ノ国	歴史	有形	○		○						観音講と呼ばれる人達によって、円空仏を守るお堂として大切に受け継がれている。
4	感冒死亡者追悼碑	上ノ国	歴史	有形	○								大正9年春に町内で流行したスペイン風邪の犠牲者を追悼するために建立された。
5	上ノ国八幡宮本殿	上ノ国	歴史	有形				○				道有形	室町時代に勝山館内に建立されていたが、明治9年に地域住民の手で現在地に遷す。大蔵鯨伝説の若宮社を合祀する。
6	重要文化財 旧笹浪家住宅	上ノ国	歴史	有形	○	○	○	○	○			国重文	江戸時代から続くニシン漁の網元で、約200年前に建てられた北海道の木造建築では最も古い民家である。
7	清浄寺本堂	上ノ国	歴史	有形	○							町有形	松前専念寺によって創立された掛所道場の一つで専念寺10世了幻の時の明和3年に落成。明治5年に公許を得て清浄寺となる。
8	畳倉	上ノ国	歴史	有形	○								昔から火災や災害が多く、大切な漁具や農具などを入れる為山の中腹に沢山建てられ「倉町」「倉が丘」とも呼ばれていた。
9	擦文人骨	上ノ国	歴史	有形									平成7年に上ノ国市街地遺跡から発見される。
10	御徒士行列（やきたり）	上ノ国	歴史	無形	○								上ノ国が藩祖である武田信廣の地であることから、松前藩から村人が1年に1度武士の格好を許されたことに由来する行列。
11	上ノ国祖廟詣	上ノ国・北村	歴史	無形			○						江戸時代、松前藩主になると、藩祖の地である上ノ国の毘沙門堂（砂館神社）、館神八幡宮、夷王山神社を参拝に訪れた。
12	天の川と戦国時代の山城を訪ねるみち	上ノ国	歴史	遺跡	○						新日本紀行歩く道・文化の道100選		旧上ノ国駅から勝山館跡を経由して道の駅「上ノ国もんじゅ」までのコースで、平成27年9月に指定。
13	上ノ国遺跡	上ノ国	歴史	遺跡	○								縄文時代晩期の「上ノ国式土器」の標識遺跡。
14	上ノ国市街地遺跡	上ノ国	歴史	遺跡	○								縄文～近世までの遺物包含地。中世には、花沢館跡・勝山館の町屋として機能していた。
15	上國寺の黒槨伝説（6体地蔵）	上ノ国	歴史	伝説	○								細川槨という女性が、1体40キロほどある石像6体を一度に江差から上國寺まで一人で運んだという伝説。
16	若君の金魚	上ノ国	歴史	伝説	○								明治元年、松前藩主一行が松前城から館城に移動する際に旧笹浪家住宅で休息をとる。その際、むづかる四歳の若君が金魚と遊び暫く和んだ。
17	天の川河口の砂州・砂嘴	上ノ国	自然	海浜									天の川から運ばれた砂や礫が海岸線に平行して流れる沿岸流によって海岸に堆積してきた地形。川が増水時には形状を変える場合あり。
18	天の川橋付近にのぼる鮭	上ノ国	景観	景観						○			秋になると天の川橋周辺で遡上する鮭を確認できる。
19	上ノ国から見える江差の景色	上ノ国	景観	景観				○					
20	船玉神社（巖島神社）の夕日	上ノ国	景観	景観	○								巖島神社。上ノ国八幡宮の末社。
21	天の川の遊歩道	上ノ国	景観	場所	○								天の川沿いの遊歩道。
22	上ノ国八幡宮の黒松、榎、杉	上ノ国	いのち	植物	○								

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
23	上國寺の桜、黒松、榎	上ノ国	いのち	植物	○								
24	清浄寺の黒松、イチヨウ、ヤマイトヤ	上ノ国	いのち	植物	○								
25	蛭子山（上ノ国）	上ノ国	まつり	伝統	○								山車。山車の人形は蛭子様。上ノ国地区の中でも川尻地区の人が主となり運行される。
26	上ノ国の山車のきり声	上ノ国	まつり	伝統	○								主に上ノ国八幡宮渡御祭の時に、信広山、蛭子山の両頭取が各家々をまわり唄われる。
27	上ノ国八幡宮渡御祭	上ノ国	まつり	伝統	○								以前は9月14日、15日の例祭に併せ行われていたが、現在は14日以降の最初の土日に開催。
28	上ノ国八幡宮の神楽	上ノ国	まつり	伝統	○								上ノ国八幡宮に伝わる神楽。松前神楽の流れをくむが、舞の名称は松前神楽と異なる。
29	信廣山（上ノ国）	上ノ国	まつり	伝統	○								山車。山車の人形は武田信広。昭和40年代まではアイヌの人形を従えて曳行されていた。
30	上ノ国昔踊り	上ノ国	まつり	伝統	○								コシャマインの戦いで勝利した武田信広の凱旋の様子を踊りとしたことが由来。江差のサメ踊りなどの原型とも言われる。
31	信廣山の人形の甲冑	上ノ国	まつり	伝統	○								
32	大澗遺跡	大澗	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（住吉町上層式・海岸段丘）、土器、石器
33	上ノ国漁港遺跡	大澗	歴史	遺跡	○								海底遺跡、中世・近世、陶磁器（伊万里焼、唐津焼ほか）
34	神の道の船止め跡	大澗	歴史	遺跡	○								神の道の所々に人為的に掘られた穴がある。船を繋ぐための杭が打たれていたと思われる。
35	オフトの穴	大澗	歴史	伝説			○		○				太陽光が入ると竜神様が来たように光る。大平山の穴に繋がっていると言われている。
36	龍神様のひかり（龍燈伝説）	大澗	歴史	伝説	○								海の神「龍神」が大平山の山の女神に逢いに、「龍燈」となって八幡牧野を歩いていくという伝説。
37	大澗ノ崎	大澗	自然	海浜	○								
38	窓岩	大澗	自然	海浜	○								立待の大滑り穴といい、大平山の洞穴につながっているともいわれる。
39	文珠浜	大澗	自然	海浜	○								神の道や文殊岩など絵になる場所が多い。
40	大澗の浜	大澗	自然	海浜	○								上ノ国八幡宮のどんど焼きや空手少年団の寒稽古が行われる。
41	ハイアロクラストイト（水中破砕岩）	大澗	自然	海浜									マグマが水に急冷されてできた細かい砕屑粒子を主体とする岩石。
42	ポットホール（甌穴）	大澗	自然	海浜									岩盤にできる円筒形の穴で、岩のくぼみや割れ目に小石が入り込み、回転して深く削られたもの。海浜で確認されるのは珍しく、日本最大溶岩流が水中で冷却固結した岩体の一種で神の道周辺で確認することができる。
43	枕状溶岩	大澗	自然	海浜									
44	夷王山神社	勝山	歴史	有形	○						史跡内		永禄元年(1558)創立。医王山神社、医王山薬師堂と称していたが、明治26年に現在の名称に。祭神は武田信広。松前家の崇敬の念厚く、歴代藩主が祖廟詣をした。頂上からの眺めは絶景。
45	勝山館跡ガイダンス施設	勝山	歴史	有形			○			○	史跡内		勝山館からの出土品やアイヌや和人の墓のレプリカなどを展示、歴史ビデオもみられる。平成17年開設。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
46	重要文化財「北海道之上国勝山館跡出土品」	勝山	歴史	有形	○							国重文	勝山館跡から出土品のうち、陶磁器や木製品など921点が平成20年7月10日に指定されている。
47	重要文化財 上國寺本堂	勝山	歴史	有形	○	○						国重文	永祿年間（1558～1570）に武田信広の菩提を弔うために開創。現存する本堂は宝暦8年（1758）建立。北海道で最も古い寺院建築。
48	書 裏書輪嶋屋太左衛門3	勝山	歴史	有形	○							町有形	安政2年（1855）の松前藩領の上知に際し、復領運動に奔走した有力者等に、安政4年の復領時に藩主松前崇広より下賜されたもの。
49	書 裏書輪嶋屋太左衛門4	勝山	歴史	有形	○							町有形	安政2年（1855）の松前藩領の上知に際し、復領運動に奔走した有力者等に、安政4年の復領時に藩主松前崇広より下賜されたもの。
50	書 松前氏13代道広筆	勝山	歴史	有形	○							町有形	道広が上ノ國八幡宮に奉納、社宝として拝殿に飾られている。
51	書 松前氏14代章広筆2	勝山	歴史	有形	○							町有形	章広が天保3年（1832）町内字石崎の牧場を巡視の時読んだ俳句3句が記されている。上ノ國八幡宮の社宝。
52	史跡上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	勝山・北村	歴史	遺跡	○	○	○	○	○			国史跡	昭和54年に花沢館跡と勝山館跡が、平成18年に洲崎館跡が国の史跡として指定された。
53	勝山尋常小学校跡	勝山	歴史	遺跡	○							史跡内	明治11年に上國寺庫裏で開校し、翌年に校舎が建設。大正3年に砂館小学校などと統合し上ノ國第一尋常小学校となる。
54	夷王山墳墓群（勝山館跡）	勝山	歴史	遺跡	○							史跡内	約650の墳墓が確認されており、アイヌ墓も発見されている。
55	荒神堂跡（勝山館跡）	勝山	歴史	遺跡	○							史跡内	勝山館城代の蠣崎基広が謀反を企てたが、四世季広に露見し討ち取られる。その後、亡霊となって勝山館に現れ、暴れまわったため、遺骨を埋めたあたりに墓を作り、堂を建てて祀った。
56	館神八幡宮跡（勝山館跡）	勝山	歴史	遺跡								史跡内	文明5年（1472）に武田信広が創建した館神。麓の若宮社が拝殿を兼ねた。明治9年に現在の上ノ國八幡宮に移された。松前家の崇敬の念厚く、歴代藩主が祖廟詣をした。
57	檜山番所跡	勝山	歴史	遺跡	○							史跡内	地域の檜を管理するため慶長元年（1596）に設置されたといわれている。延宝6年（1678）に江差に移った。
58	上之国館跡 勝山館跡	勝山	歴史	遺跡	○							史跡	遺物包含地、中世
59	十兵衛沢遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（前・中期）
60	十兵衛沢B遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（前・中期）、縄文土器（円筒式下層、上層）・石冠、石斧、石匙、石鏃
61	ばんの沢遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（中後期）、縄文土器（円筒上層式、余市式、野幌式）、長大な石錘、石斧、土器
62	四十九里沢A遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（後期・晩期）、縄文土器（野幌式、大洞C2）、石斧、石鏃、石槍、石匙
63	大潤下遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、擦文・土器
64	市街地後方A遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、土器形式不明・土器数点
65	お浪沢A遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（晩期）、縄文土器数点、鉄刀4本、刀鏢6点、陶磁器2点、人骨
66	小袋遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（後期）
67	檜ノ沢遺跡	勝山	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文、擦文、縄文土器（円筒式上層）
68	勝山館遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							史跡内	遺物包含地、縄文（前・中期）、縄文土器（円筒下層式、上層式）、石器

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
69	四十九里沢B遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（中・後期）、縄文土器（余市式、野幌式、入江式）
70	お浪沢B遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（中期）、縄文土器（円筒式、上層式）
71	ほど長根A遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（後期）、縄文土器（野幌式）
72	部落畠遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地
73	大岱遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（後・晩期）
74	宮の沢遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地
75	十兵衛沢C遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地
76	上之国館跡・花沢館跡	勝山	歴史	遺跡	○						史跡内	館跡。蠣崎季繁15C中頃に築城。
77	大岱B遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地
78	大岱沢A遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地
79	大岱沢B遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地
80	市街地後方B遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地
81	ほど長根B遺跡	勝山	歴史	遺跡	○							遺物包含地
82	赤坂と足洗川	勝山	歴史	伝説	○							長禄元年(1457)に蝦夷の軍と武田信広が八幡野で戦を展開し、信広の千人斬り伝説がある。松前から上ノ国への近道で、旅人は草履についた赤坂の赤土を小川ですすぎ落してから旅をつづけた。
83	大蔵鯨	勝山	歴史	伝説	○	○						「東遊記」「蝦夷喧辞弁」などにも記載がある伝説。鯨の群来がないため大蔵卿が祈禱すると鯨が群来した。だが地域の人たちが否定したため、大蔵卿は食べ物絶って死に、翌年は群来なかった。
84	夷王山	勝山	自然	山			○	○	○		史跡内	標高159メートルで、山頂には夷王山神社が建てられている。檜山地域沿岸や奥尻島を望むことができる。
85	夷王山山頂からの眺望(夜景)	勝山	景観	景観	○			○	○		史跡内	大潤周辺・江差方面の夜景・漁火を見渡す事ができる。
86	夜明けの塔とその眺望	勝山	景観	景観		○	○	○	○			開基800年を記念して建てられた塔で高さ800寸(24.24m)。海岸段丘の上であり、360度見渡すことができる。
87	風車のある風景	勝山	景観	景観				○	○	○		夜にキラキラ光っているのがきれい、いつも回っている
88	花沢公園	勝山	景観	場所	○			○	○			昭和〇年に整備される。5月になると八重桜が満開となる。
89	上ノ国漁港	勝山	景観	場所					○			昭和61年に竣工。漁港の整備に際して、昭和58、60年に海中の遺跡調査が行われた。
90	花沢温泉	勝山	景観	場所	○		○	○	○	○		平成7年3月に温泉開発に成功し、平成9年8月に簡易浴場が開設される。泉質は弱アルカリ性低張性高温泉。
91	特別養護老人ホームからの景色	勝山	景観	景観				○				天の川橋を見下ろす高台に位置していることから、見渡しがよい。
92	夷王山を愛する会の公園	勝山	景観	場所	○							夷王山を愛する会が手入れをしている公園。町内外の様々な人たちがつつじを植樹している。
93	天の川橋の12星座パネル	勝山	景観	場所	○							平成7年6月5日(旧暦7月7日)に開通した天の川橋の欄干に飾られている
94	天の川橋親柱の上にある彗星像・羽衣像	勝山	景観	場所	○							米坂ヒデノリ作の彫刻で平成7年8月3日(旧暦7月7日)に開通した天の川橋の親柱の上に飾られている。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
95	夷酋タナケシ	勝山	いのち	人	○								アイヌの酋長。享祿2年(1529)に瀬田内を攻略し、勝山館に攻め入るも討ちとられる。
96	勝山館跡の植物	勝山	いのち	植物				○			史跡内		勝山館跡周辺では、500種を超える植物が確認されている。
97	花沢公園の八重桜	勝山	いのち	植物					○	○			5月の初旬から中旬にかけて満開となる。
98	花沢館跡の植物	勝山	いのち	植物				○					ニホンタンポポなどが見ることができる。
99	荒神堂のイチイ	勝山	いのち	植物	○								勝山館跡に通じる道沿い、荒神堂付近で確認できる。
100	コシャマイン慰霊祭(カムイノミ)	勝山	まつり	伝統	○								コシャマインなど和人に討たれたアイヌを慰霊するため平成5年から夷王山で7月第一土曜に実施。
101	旧上ノ国中学校(現上之国館調査整備センター)	大留	歴史	有形	○								昭和22年に上ノ国小学校内で開校し昭和26年に校舎が建築。平成8年3月で閉校となり、その後、調査の拠点となる。
102	アイヌ絵巻	大留	歴史	有形	○						町有形		旧笹浪家に伝わるアイヌ絵巻。
103	蝦夷錦袱紗(ふくさ)	大留	歴史	有形	○						町有形		ホシヤマニ笹浪家が所蔵。アイヌがツングース系民族を介して交易を行っていた清の満州風の錦である。
104	円空作 阿弥陀如来像	大留	歴史	有形	○		○				町有形		明治初期に海中から拾得保管されたものが、のちに町に寄付され笹浪家に展示されている。
105	大山神社(山神社)	大留	歴史	有形	○								寛政4年(1792)の創祀で明治17年に再建された。合併により合祀された歴史をもつ御祭神。祭神は大山祇命、倉稲魂命。
106	絵画 裏書輪嶋屋太左衛門1	大留	歴史	有形	○						町有形		安政2年(1855)に松前藩領が幕府直轄地となった際に、復領運動に奔走した有力者等に、安政4年の復領時に藩主松前崇広より下賜されたもの。
107	紺糸威胴丸	大留	歴史	有形	○						町有形		胴丸とは、構造上着用が簡便で軽快な武装具で、江戸時代中期、宝暦頃のものと考えられる。松前藩主着用のものと同推察される。
108	書 裏書輪嶋屋太左衛門1	大留	歴史	有形	○						町有形		安政2年(1855)に松前藩領が幕府直轄地となった際に、復領運動に奔走した有力者等に、安政4年の復領時に藩主松前崇広より下賜されたもの。
109	書 裏書輪嶋屋太左衛門2	大留	歴史	有形	○						町有形		安政2年(1855)に松前藩領が幕府直轄地となった際に、復領運動に奔走した有力者等に、安政4年の復領時に藩主松前崇広より下賜されたもの。
110	書 松前氏14代章広筆1	大留	歴史	有形	○						町有形		松前藩領上知を解かれ梁川より帰国した章広が復領奉養のため八幡宮に奉納したものである。
111	アイヌ服・チカルカルペ1	大留	歴史	有形	○						町有形		生地は厚手の縞木綿。裏に「西川賢作」の記載あり。衿と袖口の文様は樺太のアイヌ衣服であるアットウシに似ている。
112	アイヌ服・チカルカルペ2	大留	歴史	有形	○						町有形		茶格子木綿生地のアイヌ服。衿や刺繍糸・縫い糸・切り伏生地は紺木綿を使用。
113	アイヌ服・チカルカルペ3	大留	歴史	有形	○						町有形		木綿生地のアイヌ服。切り伏生地は古い紺木綿。
114	テタラペ	大留	歴史	有形	○						町有形		生地はイラクサまたは麻。切り伏生地は紺木綿。刺繍糸は白、紺木綿。縫い糸はイラクサ、白木綿裏に「上ノ国六年笹浪キサ(旧笹浪家11代当主久英氏の母)」の記載あり。
115	マエタレ2	大留	歴史	有形	○						町有形		ニレ科のオヒョウの繊維から作ったアイヌの女性の前掛け。裏に「上ノ国六年笹浪キサ(旧笹浪家11代当主久英氏の母)」の記載あり。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
116	マエタレ3	大留	歴史	有形	○							町有形	ニレ科のオヒョウの生地から作ったアイヌの女性の前掛け。裏に「西川賢作」の記載あり。
117	絵画 裏書輪嶋屋太左衛門2	大留	歴史	有形	○							町有形	安政2年(1855)に松前藩領が幕府直轄地となった際に、復領運動に奔走した有力者等に、安政4年の復領時に藩主松前崇広より下賜されたもの。
118	上ノ国小学校	大留	歴史	有形									勝山尋常小学校の流れをくむ。現在の校舎は平成62年に完成。
119	新村遺跡	大留	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文(中・後期)、縄文土器、石斧、石鏃、石匙、石冠
120	目名の沢	大留	自然	川	○								天の川の支流、目名川の源流となる沢。以前はヒバの産地。
121	カササギロード(ヒメリンゴ街道)	大留	景観	景観			○	○		○			平成8年の天の川橋の架け替えに併せ、上ノ国駅前から清浄寺までの1.8kmの区間が整備された。その際にヒメリンゴが植えられる。
122	健康づくりセンターの山	大留	景観	場所						○			健康づくりセンターが建てられたときに造成された小山。
123	中崎公園	大留	景観	場所				○	○				遊びやすく楽しい。
124	たぬき通りの鳥居より	大留	景観	場所	○								たぬき専用のサイズ。木製ベンチも優しい。
125	パークゴルフ場の散歩コース	大留	景観	場所				○					平成10年に整備された散歩コース。
126	ジョイ・じょぐら	大留	景観	場所				○					町の総合福祉センターの愛称で、平成7年竣工。
127	体育館	大留	景観	場所				○					新しい町の体育館。平成30年7月開設予定。
128	サイカチの木	大留	いのち	植物	○								枝先にサヤがぶら下がる。昔はこのサヤを石鹸代わりに馬の体を洗っていた。もともとは中須田にあったが、道路工事により役場庁舎裏に移植される。
129	大留鹿子舞	大留	まつり	伝統	○							町無民	大留・山神社の創建時より奉納されていた鹿子舞。
130	大山神社例大祭	大留	まつり	伝統	○								祭神をオオヤマツミノミコト(大山祇命)とし、毎年9月11、12日に祭典が行われ、無病息災、家内安全等が祈願される。
131	楠公山(大留)	大留	まつり	伝統	○								山車。明治7年頃の制作とされ、江差町津花町より譲り受けたもの。名称もそのまま使用。運行、管理は大留奉賛会が担う。
132	エゾ地の火祭り	大留	まつり	現代	○		○	○	○	○			食べ物もおいしく、花火もきれい。3地区の山車が集まり盛り上がる。松明と花火の迫力は圧巻!
133	産業まつり	大留	まつり	現代				○	○				昭和7年から10月第1日唯日に開催される。町内の事業者が数多く出店する。
134	食遊祭	大留	まつり	現代				○	○				町内飲食店の名物料理が一同に会するイベントで平成20年から行われている。
135	川裾神社	向浜	歴史	有形	○								天保2年(1832)創立し、昭和44年まで上ノ国八幡宮の末社。祭神は伊邪那岐命。
136	向浜A遺跡	向浜	歴史	遺跡	○								遺物包含地
137	向浜のけあらし	向浜	自然	海浜	○								嚴寒の朝、凍結しない海面や川面に白く立ち上る霧が見ることができ
138	天の川(見どころ)	向浜	自然	川	○	○	○	○	○				渡島山地の分水嶺に源を発する、流域延長28.6kmの二級河川。名称は宣教師アンジェリスが地図に天河と記したことに由来する。
139	天の川河口部のハマナス群生地	向浜	いのち	植物	○								調査が必要。
140	アッシ	北村	歴史	有形	○							町有形	オヒョウと紺木綿製の生地の織物。生地はオヒョウ。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
141	円空作 観音座像	北村	歴史	有形	○		○					町有形	砂館神社社内に安置されていたが、明治4年の神仏分離令の際に地域の 人に匿まれ、後日北村地蔵庵に移された。
142	砂館神社本殿	北村	歴史	有形	○							道有形	創立が寛正3年(1462)と言われ、北海道史最初の記録に現れた神社で 松前藩の崇敬も深い。安永7年(1778)に一度焼失し、翌年に再建され たものが現在まで残る。
143	地蔵庵(江差正覚院末寺)	北村	歴史	有形	○								宝永6年(1709)、江差正覚院四世知雄和尚の創立。庵内(建物)には 数多くの地蔵・仏像が置かれている。
144	短刀及び拵一式	北村	歴史	有形	○							町有形	旧笹浪家所蔵品であり、江戸時代における上ノ国の歴史を知る上で貴 重である。
145	マエタレ1	北村	歴史	有形	○							町有形	ニレ科のオヒヨウの繊維から作ったアイヌの女性の前掛け。裏に「西 川賢作」の記載あり。
146	砂館尋常小学校跡	北村	歴史	遺跡	○								明治15年11月に開校し、砂館神社境内に校舎が建つ。大正3年に上ノ国 第一尋常小学校に統合される。
147	上之国館跡 洲崎館跡	北村	歴史	遺跡	○							史跡	館跡、武田信広が長禄元年(1457年)築城したとされる。
148	北村遺跡	北村	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文(前・中・後・晩期)
149	炭焼沢遺跡	北村	歴史	遺跡	○								遺物包含地
150	安在平遺跡	北村	歴史	遺跡	○								遺物包含地
151	水車小屋遺跡	北村	歴史	遺跡	○								遺物包含地
152	洲崎A遺跡	北村	歴史	遺跡	○								遺物包含地
153	洲崎B遺跡	北村	歴史	遺跡	○								遺物包含地
154	洲崎C遺跡	北村	歴史	遺跡	○								遺物包含地
155	古櫃の浜	北村	歴史	伝説	○								寛政3年(1462)の夏、洲崎の西の沖に光を放つものが現れ、古櫃が岸 辺に流れ着いた。中身が黄金の毘沙門像が現れたことから、武田信広 はこれを厚く尊信し、一社を建てて祀った。
156	天の川の大蛇	北村	歴史	伝説									松前家三世義広は弓の名手として戦功あげたが、天の川の大蛇を射止 めてから、当たらなくなった。
157	フルーツポーク	北村	食文化	現代			○	○					有限会社ささなみが生産する豚肉。フルーツとミルク、ヨーグルトを 与えて育てており、肉質が柔らかくクリーミーで肉独特の臭いもな い。
158	洲崎館のある砂丘	北村	自然	海浜		○						史跡内	洲崎館跡がある一帯は砂地であることから、砂館神社の名前の由来と なった可能性が。
159	滝本たつひこ	北村	いのち	人				○					小説家。「ネガティブハッピー・チェーンソーエッチ」で第5回角川学 園小説大賞特別賞を受賞。
160	砂館神社例大祭	北村	まつり	伝統							○	史跡内	9月2、3日に行われる。以前は行列も巡行していたが、現在は門払いの み実施。神輿も境内に保管されている。
161	大黒山(北村)	北村	まつり	伝統	○								山車。大黒様の人形を飾る。建造年は不明も昭和50年代に改修してい る。山車運行にかかる一切を大黒山保存会が担う。
162	内郷坂遺跡	内郷	歴史	遺跡	○								遺物包含地
163	内郷浜(見どころ)	内郷	自然	海浜	○								天の川河口から江差町五勝手漁港まで砂浜が続く。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
164	あすなる湖からカヌーで見る奥の景色	内郷	景観	景観						○		
165	あすなる湖手前の目名沢川と水草	内郷	景観	景観						○		
166	上ノ国ダム(あすなる湖)	内郷	景観	場所				○				目名川上流に江差町の水がめとして平成12年に完成し、ダム湖はあすなる湖と命名される。
167	甚之丞杉	内郷	いのち	植物	○							目名川上流、厚沢部町との町境付近にヒバが自生しており、ヒバの伐採後に杉が植えられた。延享2年(1745)に植樹した記録あり。
168	ヒバ自生林	内郷	いのち	植物	○							目名川上流で、厚沢部町との町境付近に自生している。

●マイ文化財一覧(山方面・中須田、新村、豊田)

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
169	中須田・稲荷神社	中須田	歴史	有形	○							文政7年(1824)創立で祭神を倉稲魂命。
170	さいかち屋敷	中須田	歴史	有形	○							代々新六を襲名した布施家があり、家の前に皂莢(さいかち)の大樹が茂っていたので皂莢屋敷と呼ばれている。
171	中須田観音堂	中須田	歴史	有形	○							文政5年(1822)の造立で、観界夢遊(清五郎)作の観音像が安置されている。
172	中須田馬頭観音の石碑	中須田	歴史	有形	○							昔、農家では、農耕作業のため馬を飼育しており、家族同様に扱われていた。その供養のために建立された。
173	京谷家のニシン漁具	中須田	歴史	有形	○							江戸時代末期から大正にかけてのニシン漁で使用された漁具。この構想がきっかけで所蔵されていたことが判明。
174	河北小学校	中須田	歴史	有形								明治18年開校し、昭和61年に現校舎が完成する。
175	金子鶴雄さんの縄ない技術	中須田	歴史	無形			○		○			縄ない技術を有している数少ない継承者のひとり。
176	河北中学校跡	中須田	歴史	遺跡	○							昭和22年に桂岡で開校し、昭和29年に校舎が落成する。平成8年3月に閉校し、校舎は平成21年に取り壊される。
177	名伯楽・布施新六伝	中須田	歴史	伝説	○							中須田に、代々新六を襲名した布施家で、明治中頃に亡くなった新六は、馬を見る名人で馬の神様と言われた。
178	久末ハナエさんのキノコ栽培	中須田	食文化	現代					○			シイタケ・干しシイタケ・キクラゲなどを栽培する。
179	ニオウ(にお)積み	中須田	景観	景観	○							収穫した農作物を自然の力で乾燥させるために行う。機械乾燥が主流とだが、現在も数件の農家が実施している。
180	中須田神社の黒松	中須田	いのち	植物	○							
181	イチゴ	中須田	いのち	植物					○			上ノ国の果物はとても甘くて美味しいから。
182	ジャガイモ	中須田	いのち	植物					○			町の代表的作物の一つで、町内一円、特に天の川流域沿いで多く栽培されている。
183	新村稲荷神社	新村	歴史	有形	○							明治17年9月創祀で祭神は、倉稲魂命。
184	新村久兵衛翁顕彰碑	新村	歴史	有形	○							明治初頭に新村周辺など天の川流域で水田開発を行った新村久兵衛を称えるため昭和27年に建立された。
185	新村2遺跡	新村	歴史	遺跡	○							遺物包含地

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
186	新村3遺跡	新村	歴史	遺跡	○							遺物包含地
187	新村4遺跡	新村	歴史	遺跡	○							遺物包含地
188	豊田西遺跡	新村	歴史	遺跡	○							遺物包含地
189	豊田西2遺跡	新村	歴史	遺跡	○							遺物包含地
190	新村稻荷神社例祭	新村	まつり	伝統	○							毎年9月10日に行われている。
191	豊年山(新村)	新村	まつり	伝統	○							ももとは江差町内で使われていた山車で後に、寄贈を受ける。
192	豊田・稲荷神社	豊田	歴史	有形	○							明治17年以降の創立で祭神は倉稲魂命と大國魂命。
193	豊田遺跡	豊田	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(後期)
194	豊田B遺跡	豊田	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(中・後期)
195	豊田C遺跡	豊田	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(中・後期)
196	豊田D遺跡	豊田	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文
197	瓦場遺跡	豊田	歴史	遺跡	○							遺物包含地
198	石山遺跡	豊田	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(後期)
199	豊田E遺跡	豊田	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文、土器片140点、石器14点、フレーク26点、石冠1点、石鏃1点

●マイ文化財一覧(山方面・桂岡、小森、早瀬、宮越)

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
200	愛宕神社(桂岡神社)	桂岡	歴史	有形	○	○				○		天和元年(1681)創立。祭神は火産霊命、倉稲魂命、大山祇命。伊勢海老彫刻・神社前の直線道路も珍しい景観。
201	桂岡墓地の地蔵7尊	桂岡	歴史	有形	○							
202	桂岡地区にある天保年間の墓石	桂岡	歴史	有形	○							ももとは愛宕神社境内の感情の盛り土内にあったものが移されたと言われている。
203	南條氏(安右衛門)の墓	桂岡	歴史	有形	○						町有形	南條安右衛門の墓と伝えられている。南條家の祖季継は知内町の脇本の館主と知られ、後に子孫は松前家に仕えた。安右衛門包元は享保18年(1733)から寛保2年(1742)まで寺社奉行を勤めた。
204	観音講(桂岡)	桂岡	歴史	無形	○							毎月18日に観音様を祀っていたが、昭和末期に世話人が亡くなってから行われなくなり、観音の掛け軸は江差の金剛寺に納めた。
205	鬼子母神講(桂岡)	桂岡	歴史	無形	○							8日が鬼子母神さんの日であるので、3月8日に地区の女性たちによって営まれる。講員は法華寺の檀家が多い。
206	地蔵講(桂岡)	桂岡	歴史	無形	○							3月中旬に地区の女性があつまり、地蔵を地区の集会施設まで運んで、洗ったり、衣装や前掛けを取り換え、供え物をする。
207	愛宕山遺跡	桂岡	歴史	遺跡	○							遺物包含地・縄文(早・前・中・後・晩期)、縄文土器(住吉、円筒下層、上層、野幌式、亀ヶ岡)、石鏃、石匙、石斧、石錘
208	桂岡遺跡	桂岡	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(後・晩期)、石匙、石鏃、石斧、石棒
209	ワラビ岱遺跡	桂岡	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(後期)、縄文土器(野幌式)、石鏃、石小刀、石匙、石刀

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
210	河北中グランド遺跡	桂岡	歴史	遺跡	○							遺物包含地
211	桂岡B遺跡	桂岡	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文
212	ワラビ岱B遺跡	桂岡	歴史	遺跡	○							遺物包含地
213	沼の大蛇（桂の木）	桂岡	歴史	伝説	○							沢の山奥に住む大蛇が海に行くために桂の木を切ってほしいと懇願したが、麓の大洪水を恐れた村人は斧を入れず村々を守った。
214	太平山の穴	桂岡	歴史	伝説	○		○					
215	逆さ水松（伝説）	桂岡	歴史	伝説								謀反を疑われた南条広継が無実を訴えてながら自害するが、その際、棺の上に水松を逆さにいけさせ、根付いたら悪心がない証と遺言した。
216	キヌサヤエンドウ	桂岡	いのち	植物					○			エノケの主要農産物。涼やかな秋が栽培に適していたことから広がった。
217	愛宕神社の逆さ水松	桂岡	いのち	植物	○	○						南条広継が身の潔白を訴えて自ら命を絶つときに棺の上に水松を逆さに植えられたものが根付いたといわれる。
218	一井の沢の赤松	桂岡	いのち	植物	○							桂岡と中須田地区の境界付近。
219	桂岡の寸止めの松（首切りの松）	桂岡	いのち	植物	○							戊辰戦争終結後、旧幕府軍の兵士と新政府軍の兵士が桂岡で行き会った際、無駄な殺生を避けるため代わりに松の木を切った。
220	愛宕山（山車）	桂岡	まつり	伝統	○							山車。（要確認）楠木正成か神武天皇。囃子は江差の愛宕山から習ったもの。平成28年に約20年ぶりに曳行された。
221	愛宕神社例祭	桂岡	まつり	伝統	○							8月15日に宵宮、16日に本祭が行われ、山車が巡行する年もある。以前は、8月23日、24日に行われていた。
222	小森墓地の地蔵21尊	小森	歴史	有形	○							立像の6地蔵、奉納された座像や立像の地蔵15尊が小屋の中に安置されている。
223	山神社	小森	歴史	有形	○							創立年代不詳で寛政8年(1796)に再建。近隣にあった太平山神社を昭和49年5月に合祀した。祭神は、大山祇命と少名彦命。
224	観音講（小森）	小森	歴史	無形	○							昭和50年頃まで逢見定雄という行者が、女性を集めて実施していた。現在は途絶えている。
225	籠り講（小森）	小森	歴史	無形	○							草取りがひと段落すると年長の女性が集まって行われていた。神社に初物の農産物を持ち寄り世間話や飲食して過ごした。
226	地蔵講（小森）	小森	歴史	無形	○							3月に集会施設に集まり、地蔵の衣替えなどを実施。6体の地蔵は地獄の道から救ってくれる意味がある。
227	小森法華堂跡	小森	歴史	遺跡	○							大永元年(1521)、日尋上人が日持聖人の偉業を慕って訪れたとき、小堀（小森）に一字一石が埋めてあるのに感得し、法華堂を建てた。のちに江差町に移され法華寺となる。
228	小森遺跡	小森	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（中期）、縄文土器（円筒式、上層式）
229	伝之丞の鷹くそとんび	小森	歴史	伝説	○							有数の鷹場でだった上ノ国。幕末の頃、小森に鷹捕り名人の鈴木伝之丞が捕まえた鷹を献上しようとしたが鷹だったために馬鹿にされた。
230	厚志内川	小森	自然	川	○							滝や大岩などがある。
231	赤ダモの木	小森	いのち	植物	○							山神社境内の立木。
232	太平山（山車・小森）	小森	まつり	伝統	○							小森地区で曳行されていた山車。江差町の豊川神社から譲り受けたもので、現在は車庫ごと朽ち果てている。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
233	早瀬・稲荷神社	早瀬	歴史	有形	○							寛政3年(1791)の創建。集会施設ができるまで地区の様々な行事で使われた。吉田家の神号を納む。祭神は倉稲魂命。
234	早瀬墓地の地蔵6尊	早瀬	歴史	有形	○							墓地入り口にあり、隣にはマニ車がある。
235	太平山神社	小森	歴史	有形	○							小森・山神社から西側約100メートルにあったが、社地が個人所有のため再建できず山神社に合祀された。その後、山車小屋が建てられた。
236	地蔵講(早瀬)	早瀬	歴史	無形	○							彼岸の頃に集会施設に集まって実施。昔は、亡くなった人がいた家に地蔵を持って行きおこなっていた。
237	籠り講(早瀬)	早瀬	歴史	無形	○							9月になると地域の人が神社に籠って、裁縫や藁編み、布団干しなど冬備えを実施していた。戦時中まで実施されていた。
238	早瀬の虫送り(蟲取り・どろおいむし)	早瀬	歴史	無形	○							「どろむし」と言われる田んぼの泥の塊の中にいる虫を細長い木の箱でさらう。
239	早瀬遺跡	早瀬	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(後期)、縄文土器(亀ヶ岡、大洞式)、石鏃、石匙、石槍、石棒
240	ぷるぷる(ぶるぶる)	早瀬	食文化	伝統	○							干しシイタケとコンニャクをしょう油と昆布だしで煮て、最後にあんかけ状して完成。上國寺の和尚が命名したと言われる。
241	桧内の沢支流の滝	早瀬	自然	川	○							
242	桧内沢林道の巨木	早瀬	いのち	植物	○							道道江差木古内線から檜内沢林道に少し入ったところにある。
243	樽神輿(早瀬)	早瀬	まつり	伝統	○							25年位前に2年のみ復活するも、現在は行われていない。樽神輿は処分されている。
244	早瀬稲荷神社の例祭	早瀬	まつり	伝統	○							8月16日に宵宮、17日に本祭が行われている。
245	宮越稲荷神社	宮越	歴史	有形	○							文政11年(1828)に村の鎮守として社を建立された。嘉永2年(1849)に再建、文久3年(1863)に現在地へ遷座した。祭神は倉稲魂命。
246	宮越小学校	宮越	歴史	有形	○							昭和24年に河北小学校宮越分校として開設され、昭和31年に開校。平成10年に閉校。校舎は現在も利用されている。
247	左しゃみせんの墓	宮越	歴史	有形	○							宮越に訪れた左利きの三味線奏者。
248	宮越村タント節	宮越	歴史	無形								長谷川力雄氏作詞。宮越の街の様子がわかる歌詞となっている。
249	宮越内の沢甚句	宮越	歴史	無形								長谷川力雄氏作詞。宮越の歴史が紹介される歌詞となっている。
250	宮越遺跡	宮越	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(後期)
251	大千軒岳	宮越	自然	山	○							上ノ国町と松前町を分ける山。標高1,072m。北海道で最初に一等三角点が設置された山。
252	大千軒岳登山口付近	宮越	景観	景観	○							上ノ国・松前ルート。現時点では上ノ国から行けない。
253	ブナ保護林遠景	宮越	景観	景観	○							厚志内川上流からブナ保護林を見渡した。
254	宮越の田園風景	宮越	景観	景観	○							宮越地区の西側に水田が広がっている。
255	宮越の赤松、カラマツ	宮越	いのち	植物	○							宮越稲荷神社の近くで確認することができる。
256	大黒山(宮越)	宮越	まつり	伝統	○							山車。桂岡の長谷川和夫氏が建造。囃子は1種類のみ。少なくとも平成6年頃までは運行されていた。
257	宮越稲荷神社例祭	宮越	まつり	伝統	○							9月8日、9日に行われていたが、以前は農作物の取り入れ状況を見てから行われていたという。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		

●マイ文化財一覧（山方面・湯ノ岱）

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
258	馬頭観音の石碑	湯ノ岱	歴史	有形	○								昔、神明地区の家々で馬を飼っており、その馬の健康を願うため昭和30年代に建立された。
259	三社大神宮	湯ノ岱	歴史	有形	○								明治34年(1901)に上ノ沢へ入植した富江清助氏が個人的に建立し、天照大神、八幡大神、春日大神を祀る。別名富江神社。
260	神明稲荷神社（豊川稲荷神社）	湯ノ岱	歴史	有形	○								小樽出身の山師渡辺辰雄が鉄鉢を当てたお礼に昭和28年に神社を建立。神事は姥神大神宮宮司が執り行う。祭神は豊川稲荷。
261	大和産業のチップ工場	湯ノ岱	歴史	有形	○								本社を北斗市に置く。時田製材所として昭和33年頃に開設し、昭和60年頃に大和産業に移行した。
262	山ノ神	湯ノ岱	歴史	有形	○								山仕事に携わる人が崇拝。もともと個人的に祀られたもので、創建は文久3年(1863)。戦後に湯ノ岱稲荷神社に合祀される。
263	湯ノ岱稲荷神社	湯ノ岱	歴史	有形	○								稲荷社の創立は不詳。大山祇命を祀った境内社の創立は文久3年。祭神は、倉稲魂命と大山祇命。
264	湯ノ岱小中学校	湯ノ岱	歴史	有形	○								明治17年に勝山小学校の分校として開校し、大正6年に湯ノ岱尋常小学校となる。昭和33年から昭和43年には上ノ沢分校が開設されていた。中学校は平成8年、小学校は平成27年閉校。
265	念仏講（湯ノ岱）	湯ノ岱	歴史	無形	○								ムラで死者が出た時、亡くなった人が出た家で行われた。老若男女問わずみんなで輪になって鉦に合わせて念仏を唱えながら数珠を回した。
266	湯ノ岱地区の造材技術	湯ノ岱	歴史	無形	○								もともとは林業で栄えた地域で、現在も林業従事者が多く住む。
267	湯ノ岱小学校上ノ沢分校跡	湯ノ岱	歴史	遺跡	○								昭和33～42年にかけて開設されていた。上の沢には、第2次世界大戦後の昭和22年から入植が行われていた。
268	湯ノ岱の関所跡	湯ノ岱	歴史	遺跡	○								木古内側との境界にある稲穂峠は難所であったことから、幕府は文化年間(1804～1818)にこの道を改良し、番所を設けた。
269	冷泉跡	湯ノ岱	歴史	遺跡	○								中ノ沢林道より4キロ地点で確認。
270	湯ノ岱遺跡	湯ノ岱	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文
271	上の沢遺跡	湯ノ岱	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文
272	湯ノ岱2遺跡	湯ノ岱	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（後期）
273	湯ノ岱3遺跡	湯ノ岱	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文
274	湯ノ岱の煮しめ	湯ノ岱	食文化	伝統	○								ゼンマイ入り。時期になるとゼンマイを干す風景が見られた。
275	ゼンマイの一本煮	湯ノ岱	食文化	伝統	○								上の沢や膳棚で採ることができ、湯ノ岱地区などで5月から6月にかけてゼンマイを茹でて干す光景が見らる。
276	アユ釣り	湯ノ岱	食文化	現代				○					天の川鮎愛好会がアユの稚魚を天の川に放流しており、数多くの釣り人にてぎわっている。
277	白水の沢橋付近の地層	湯ノ岱	自然	山	○								七ツ岳に向かう途中で、地層が斜めになっている。
278	七ツ岳	湯ノ岱	自然	山	○		○	○	○				標高957mの町境となる山。湯ノ岱小学校の校歌でもにも唄われており、湯ノ岱地区の人々から愛着がある。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
279	七ツ岳の大沼	湯ノ岱	自然	山	○							七ツ岳の山麓にある沼で。沼につながる川はない。
280	七ツ岳の小沼	湯ノ岱	自然	山	○							七ツ岳登山道入口に通じる林道沿いにある。
281	澄川	湯ノ岱	自然	川	○							天の川水系上の沢川上流の川。
282	上ノ沢川	湯ノ岱	自然	川	○							天の川支流。秋の紅葉が見事。
283	上ノ沢の滝	湯ノ岱	自然	川	○							上ノ沢川上流にある。数量は豊富ではない。
284	キタキの滝	湯ノ岱	自然	川	○							下ノ沢林道入口より6.2キロ地点。水量があるが落差は少ない。
285	屏風立川点の溪流と滝	湯ノ岱	自然	川	○							中ノ沢林道入口より8.1キロ地点。落差はないが2段3段と落ちる。
286	右股分線林道の滝	湯ノ岱	自然	川	○							中ノ沢の奥。厚沢部町と境界近くで確認できる。
287	冷泉湧き出し口	湯ノ岱	自然	川	○							下ノ沢林道に入り3.8キロ地点付近で確認。
288	七ツ岳頂上からの景色	湯ノ岱	景観	景観							○	日本海と津軽海峡を見下ろし、好天時は岩木山まで見える。
289	七ツ岳ふもとの大沼に写る逆さ七ツ岳	湯ノ岱	景観	景観	○						○	水面が波立つことが少なく七ツ岳をきれいに写す。
290	湯ノ岱の紅葉	湯ノ岱	景観	景観	○			○	○			湯ノ岱地区周辺は広葉樹で覆われており、秋に色づくときれいな景色となる。
291	湯ノ岱温泉（上ノ国町国民温泉保養センター）	湯ノ岱	景観	場所	○		○	○	○	○		江戸時代末期の探検家、松浦武四郎の記録にも残る温泉。保養センターは昭和50年開設。
292	天の川大橋そばにある足湯	湯ノ岱	景観	場所	○							大橋の下流の河川敷地内にあり、冬期間には渡り鳥も越冬している。
293	湯ノ岱スキー場	湯ノ岱	景観	場所				○	○	○		昭和57年に現在のゲレンデが整備された。
294	湯ノ岱共和会	湯ノ岱	いのち	人	○							明治33年に富江清助氏が入植後、共同作業の交流から親睦が高まり明治44年に設立された。
295	アキグミ	湯ノ岱	いのち	植物	○							
296	湯ノ岱トンネル近くの桜の木	湯ノ岱	いのち	植物	○							木の形が良いことから、地域の人が周辺の手入れを行っている。
297	水芭蕉群生地	湯ノ岱	いのち	植物	○							下ノ沢林道に入り3.4キロ地点付近で確認。
298	稲荷山（山車）	湯ノ岱	まつり	伝統	○							昭和27年頃に富江清を中心に作られ、昭和57年頃に扇ねぶた型に改修。山車の前部が舞台で、そこで踊りが披露されていた。
299	湯ノ岱稲荷神社例祭	湯ノ岱	まつり	伝統	○							9月10日、11日に実施されている。

●マイ文化財一覧（山方面・神明、膳棚）

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
300	神明小中学校	神明	歴史	有形	○							昭和23年に湯ノ岱小中学校の分校として開設され、昭和25年に開校。昭和52年閉校。校舎は昭和33年建築で、現在まで残る。
301	神明地区の入植の歴史	神明	歴史	無形	○							第二次世界大戦後の昭和20年から入植、開拓される。樺太や満州からの引揚者や町内でも次男三男がこの地で開拓し栄えた。
302	ブラックシリカ	神明	自然	山				○	○			学術上は黒鉛珪石。マイナスイオンを放射する天然石・産出地は神明でこの周辺でしか採掘されない。
303	神明から膳棚の紅葉	神明・膳棚	景観	景観							○	広葉樹が多いことから秋になると燃えるような風景となる。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
304	神明の水芭蕉群生地	神明	いのち	植物	○								道道江差木古内線沿いで神明地区への入り口付近で確認できる。
305	仙蔵の沢林道内湧き水	膳棚	自然	川	○								地表から湧き出ている。
306	天の川の段々の滝	膳棚	自然	川	○								道道江差木古内線沿いで、仙蔵の沢林道入り口に近い。
307	ブナ林施業公園	膳棚	景観	場所	○								北海道森林管理局が整備を進め平成12年に完成。全域で85ヘクタールあり、遊歩道や遊具、四阿などが整備される。
308	番所のオンコ	膳棚	いのち	植物	○								直径約2メートルのオンコ（イチイ）。その周りに濠や橋、松前藩指定の宿もあったといわれている。旧JR江差線の沿線近く。

●マイ文化財一覧（海方面・大崎、原歌）

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考	
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児			
309	原歌遺跡	原歌	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（前・中・後期）、続縄文、石斧、石匙、石鏃若干。
310	文珠海岸の地形	原歌	自然	海浜	○	○				○			海蝕・波蝕地形、神の道・文殊岩など。
311	海成段丘	原歌	自然	海浜		○							形成時期が異なる（約50万年前～約12万年前）段丘面が、ほぼ連続して分布している。
312	道の駅もんじゅから見える景色	原歌	景観	景観	○					○	○		夕日。海。
313	風の王	原歌	景観	場所	○								国松明日香作のモニュメントで平成4年に日本海情報交流館文珠が開設した時に設置される。
314	風の門	原歌	景観	場所	○								国松明日香作のモニュメントで平成4年に日本海情報交流館文珠が開設した時に設置される。
315	風の羅針盤	原歌	景観	場所	○								金門電気寄贈（要確認）
316	大潤ノ崎のエゾカンゾウ群生地	原歌	いのち	植物	○								文殊岩を見渡す一帯で確認できる。
317	大崎稻荷神社	大崎	歴史	有形	○								天保2年創立で昭和44年までは上ノ國八幡宮の末社。祭神は倉稲魂命。
318	米軍対潜レーダー基地跡	大崎	歴史	遺跡	○								戦後に米軍が対潜、レーダー基地として昭和31年ころまで駐留する。その後、駐留軍兵舎の一部が大崎小学校の校舎となる。
319	大崎小学校跡	大崎	歴史	遺跡									勝山尋常小学校の洲根子分教所として明治43年に開設され、平成17年に廃校となる。校舎は元の米駐留施設で、平成21年に取り壊された。
320	大崎A遺跡	大崎	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（後期）、石斧、石匙、石鏃
321	赤石遺跡	大崎	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（晩期）、縄文土器（亀ヶ岡、大筒式土器）、石鏃、石斧、石匙、石錘
322	大崎B遺跡	大崎	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（前期）、続縄文
323	大崎C遺跡	大崎	歴史	遺跡	○								遺物包含地、縄文（前期・後期）、縄文土器（楢川式）、土器片前期3点、後期4点
324	八幡牧場の短角牛	大崎	いのち	動物	○					○			昭和28年に短角牛30頭導入され始まる。八幡牧場で肥育されたのち出荷される。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
325	洲根子岬	大崎	自然	海浜	○							州根子は、大崎の古い名。この地には狐狸が多く棲み、村人が欺かれている。
326	八幡牧場から見る景色	大崎	景観	景観	○						○	八幡牧野からは江差～石崎方面の海岸線を見渡すことができる。
327	上ノ国漁港大崎分港	大崎	景観	場所	○							漁港新設当時は地元負担が多く、集落の共有財産や漁業権などを売るなどしてこれに充当した逸話がある。
328	洲根子岬のハマナス群生地	大崎	いのち	植物	○							

●マイ文化財一覧（海方面・木ノ子、大安在）

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
329	木ノ子・稲荷神社	木ノ子	歴史	有形	○							弘治元年(1555)の創祀で神祇官頭吉田家の神号納む。祭神は、倉稲魂命と言代主命。
330	円空作 観音座像	木ノ子	歴史	有形	○		○					町有形 稲荷社にあったが明治4年の神仏分離の際光明寺に安置される。
331	光明寺	木ノ子	歴史	有形	○							宝暦10年(1760)、上國寺十六代弁的和尚の創立で、上國寺の末寺で光明庵と称した。現在の本堂は昭和33年建築。浄土宗。
332	赤門の墓	木ノ子	歴史	有形	○							町有形 天明年間、木ノ子の知行主であった蛸崎将監広当の墓。ただし、将監の墓は松前法源寺にもあるため、木ノ子の墓は誰が建てたのかは不明。
333	太平山鉄塔建設工事事故の供養塔	木ノ子	歴史	有形	○							建設工事での事故の犠牲者を弔うため建立され、後に光明寺の墓所に移築された。
334	木ノ子遺跡	木ノ子	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（後・晩期）
335	大安在遺跡	木ノ子	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（後・晩期）
336	滝ノ沢遺跡	木ノ子	歴史	遺跡	○							遺物包含地
337	クジラ餅	木ノ子	食文化	伝統	○							木ノ子地区から町内に広がったとの説がある。
338	タンコウの沢	木ノ子	自然	川	○							
339	滝沢小学校から見える海	木ノ子	景観	景観							○	
340	滝沢小学校前の夕日	木ノ子	景観	景観				○	○			
341	大安在の夕日	木ノ子	景観	景観						○		
342	古館スタンドからみる夕日	木ノ子	景観	景観	○							
343	木ノ子墓地と火葬場跡	木ノ子	景観	場所	○							
344	木ノ子、小安在の桜	木ノ子	いのち	植物	○							
345	木ノ子稲荷神社例祭	木ノ子	まつり	伝統	○							
346	河北小学校大安在分校跡	大安在	歴史	遺跡	○							昭和35年ころに入植し、昭和39年から41年に開設されていた。
347	北海道水稲発祥の地	大安在	歴史	遺跡	○							大安在川流域で、元禄年間に水田耕作が始められたと言われる。
348	福山街道（藩主祖廟詣での道）	大安在	歴史	遺跡	○		○					歴史の道百選 勝山館に至る旧道で、勝山館が廃絶された後も松前藩主や家臣が参道、代参道として利用された。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
349	昇平丸	大安在	歴史	遺跡	○		○		○			安政元年(1854)に薩摩藩が建造した洋式軍艦で、明治3年に猫の沢沖で座礁し破船する。
350	大安在B遺跡	大安在	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文(中・後期)
351	住川遺跡	大安在	歴史	遺跡	○							遺物包含地
352	寅ノ沢遺跡	大安在	歴史	遺跡	○							遺物包含地
353	十兵衛沢D遺跡	大安在	歴史	遺跡	○							遺物包含地
354	十兵衛石の話	大安在	歴史	伝説					○			昔中須田に住む十兵衛という強い相撲取りがいた。木ノ子稲荷神社の奉納相撲に参加した帰り道だったが、途中の大安在の岩の傍らで変わり果てた姿で見つかった。
355	大安在浜の冬の荒波	大安在	自然	海浜						○		夏場は小石で覆われているが、冬場の時化で岩場が露出する。
356	寅の沢と猫の沢	大安在	自然	川	○							寅の沢の由来は、巡検使一行と出くわした熊が、一目散に逃げた様子が寅のように速かったことによる。また、猫の沢は洲根子に住む人が捨てた猫が、化け猫になって現れるという噂による。
357	大安在浜のエゾカンゾウ	大安在	いのち	植物	○							群生している。
358	大安在浜のエゾニュウ	大安在	いのち	植物	○							別名におう。群生している。また、塩漬けにして、クジラ汁の具材として利用される地域もある。
359	大安在浜のアヤメ	大安在	いのち	植物	○							群生している。

●マイ文化財一覧(海方面・汐吹、扇石、滝沢)

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
360	照光寺	汐吹	歴史	有形	○							天正10年に浄賢和尚の創立で、もとは、江差町の阿弥陀寺の末寺で阿弥陀堂といった。浄土宗正行寺派。
361	ワシリ遺跡	汐吹	歴史	遺跡	○		○					擦文時代の環濠集落。
362	山小崎遺跡	汐吹	歴史	遺跡	○							遺物包含地、石鏃
363	汐吹遺跡	汐吹	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文、土器、石鏃
364	羽根差遺跡	汐吹	歴史	遺跡	○							遺物包含地
365	タテノ遺跡	汐吹	歴史	遺跡	○							遺物包含地
366	サメ坂	汐吹	歴史	伝説	○							寛永の津波の際に、ワシリ遺跡の近くまで津波が押し寄せ、大量のサメが寄せられたことによる。
367	つぼっこ汁	汐吹	食文化	伝統	○							金時豆やニンジン、豆腐、ちくわなどをしょう油仕立ての汁で煮てある。主に小正月などに作られる。
368	ホッケ飯寿司	汐吹	食文化	伝統	○							晩秋から初冬に作られる郷土食で米麴を使い漬け込む。鮭やイカ、ハタハタなどでも作る。
369	ホッケのすり身	汐吹	食文化	伝統	○							冬から春にかけて水揚げされるホッケを使用される
370	海産物の加工風景	汐吹	食文化	伝統	○							昔よりイカやホッケ、スケトウダラなど様々な水産物の加工風景が見られた。
371	サメめた	汐吹	食文化	伝統	○							サメの調理法(食べ方)

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
372	サメみそ漬け	汐吹	食文化	伝統	○							サメの調理法（食べ方）
373	根ボッケ	汐吹	食文化	現代	○							本来回遊漁であるホッケが、近海の岩棚に根つき大きく育ち脂のりのよいもの。
374	大沢川	汐吹	自然	川	○							
375	汐吹漁港の汐吹岩のレリーフ	汐吹	景観	景観	○							地名の由来ともなった岩が漁港の拡張工事のため壊されたが、レリーフとして残した。
376	汐吹漁港の水揚げ風景	汐吹	景観	景観	○							町内で最も大きい港で、ひやま漁協の支所もある。
377	汐吹漁港の夕日	汐吹	景観	景観	○							
378	ウニ・アワビ漁	汐吹	景観	景観	○							磯舟を出して、漁を行う。
379	汐吹緑地公園から見る夕日	汐吹	景観	景観	○							
380	イカつけ（イカ釣り船）の出航（出漁）風景	汐吹	景観	景観	○							光に集まるイカの特性を利用して夜に漁を行うため、夕方に出漁する。マイカ漁の漁期は、毎年6月から1月。
381	汐吹漁港	汐吹	景観	場所					○			昭和25年に漁港として工事が着手され、数度の災害に見舞われたが、昭和32年に完成。数度の拡張工事を経て現在の形となる。
382	標語「まあいがべ これていがべが 事故のもと」	汐吹	景観	場所	○							汐吹港の防波堤に書かれている標語。
383	市山熊雄	汐吹	いのち	人	○							昔の漁法を知る人。
384	ゴジラエビ（ガサエビ）	汐吹	いのち	動物	○							正式にはイバラモエビで、汐吹漁港で水揚げされる。
385	恵比須山	汐吹	まつり	伝統	○							山車。恵比須様の人形を飾り巡行する。
386	汐吹愛宕神社例祭	汐吹	まつり	伝統	○							
387	てっくい祭り	汐吹	まつり	現代					○			てっくいはヒラメのことで、てっくいの販売機会を増やすため、平成27年から行われている。
388	愛宕神社（愛宕山）（扇石）	扇石	歴史	有形	○							天正10年(1582)創祀。祭神は火産霊命、倉稻魂命、大山祇命。
389	瀧澤神社	扇石	歴史	有形	○							寛永11年(1634)の創立。祭神、言代主命と倉稻魂命。
390	扇石遺跡	扇石	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文、縄文土器（円筒式上層）
391	扇石	扇石	自然	海浜				○				扇の形をした石で地石の由来に、激しい波風のための損傷し形が崩れている
392	扇石近くの滝	扇石	自然	川	○							
393	滝の沢の滝	扇石	自然	川	○							
394	海で遊ぶ子どもの風景	扇石	景観	場所	○							
395	扇石神社のケヤキ	扇石	いのち	植物	○							
396	滝沢小学校	滝沢	歴史	有形	○							安在小学校と汐吹小学校（共に明治15年開校）が大正3年に統合して開校した。現校舎は平成10年築。
397	旧滝沢中学校跡	滝沢	歴史	遺跡	○							昭和22年に開校し、平成8年に閉校する。校舎は昭和26年竣工し、平成13年に解体される。
398	箱岩	滝沢	自然	海浜	○							

●マイ文化財一覧（海方面・石崎、早川）

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
399	石崎八幡神社	石崎	歴史	有形	○							創立年代は明確ではないが寛文年代(1661~1673)には存在していた。元禄17年(1704)の銘がある鰐口や元文4年(1736)~享和元年(1801)の棟札が残されている。
400	円空作 観音座像	石崎	歴史	有形	○		○				町有形	石崎八幡神社に安置され、明治の神仏分離の際に鳥帽子・直垂をつけ棄却の難を逃れる。
401	西迎寺	石崎	歴史	有形	○							慶長14年(1609)創立で、江差町の阿弥陀寺の末寺で明光庵といった。浄土宗正行寺派。
402	斉藤流松前家三代の位牌	石崎	歴史	有形	○							緑岸院春水芳柳居士、惣法院殿一音祖菴庵主、広純院門殿普門月心居士。木工広綏、左膳広政、内蔵広純の位牌と言われる。
403	法香寺	石崎	歴史	有形	○							福山専念寺十世了幻の創立で、安永元年に堂宇が落成。天明元年に焼失し再建。明治5年に公許をえて法香寺と称した。
404	松前平角(ばっかく)の墓	石崎	歴史	有形	○						町有形	松前平角源則忠の墓。松前7代公広の幸広を祖とする斉藤流松前家の出。没年は文政2年(1819)2月13日。
405	早川小学校	石崎	歴史	有形								明治15年、坪田権之丞宅を仮校舎として開校し、平成27年閉校。現存する建物は平成14年に早川中学校跡地に建てられた。
406	大滝の古戦場	石崎	歴史	遺跡	○							戊辰戦争の古戦場。松前城を落とされた松前藩が旧幕府軍を迎え撃つために陣を構えたが、背後から奇襲を受け敗走した。
407	石崎漁港トンネル	石崎	歴史	遺跡	○						登録有	昭和9年に比石館跡の下部に長さ45m、幅9mの半円形のトンネルが設けられ、昭和58年まで利用された。
408	早川中学校跡	石崎	歴史	遺跡	○							昭和22年に早川小学校内で開校し、昭和26年に校舎が竣工。平成13年に廃校となった。後に早川小学校が建てられた。
409	中外鉱山跡	石崎	歴史	遺跡	○		○					昭和14年に八田満次郎が創業し、昭和18年に中外鉱業(株)が買収。快適な環境で生産され、厚生施設も充実するも昭和61年に休山。
410	比石館跡	石崎	歴史	遺跡	○	○						嘉吉元年(1441)厚谷右近将監重政の築いたもので、長禄元年(1457)のコシャマインの戦いで陥落。
411	十三曲	石崎	歴史	遺跡	○							石崎小砂子間の峠。昭和55年に現在の国道が開通するまで交通の要害だった。
412	ラスタッペ遺跡	石崎	歴史	遺跡	○							遺物包含地、続縄文、縄文土器(恵山式)、石鏃、石匙、石斧
413	金堀沢遺跡	石崎	歴史	遺跡	○							遺物包含地
414	メノコシ野遺跡	石崎	歴史	遺跡	○							遺物包含地
415	境川遺跡	石崎	歴史	遺跡	○							遺物包含地
416	旧早川小学校跡	早川	歴史	遺跡	○							明治18年の開校から平成14年に早川中学校跡地へ移転するまで利用される。
417	早川の主	石崎	歴史	伝説	○							コシャマインの戦いで討死にした厚谷右近将監重政は比石館下の急流に身を沈め、大鯨に化身し、早川の主になったと言われる。
418	大滝橋付近の海岸線	石崎	自然	海浜	○							
419	メノコシ岬	石崎	自然	海浜	○							

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
420	ラストッペ岬	石崎	自然	海浜	○		○					
421	大滝山、初神山、滝ノ間山	石崎	自然	山	○							
422	石崎川	石崎	自然	川	○							
423	黄金の滝	石崎	自然	川	○							石崎川上流にあり、運んでいた金が落ちたため名付けられた。
424	長内川	石崎	自然	川	○							
425	赤井川	石崎	自然	川	○							石崎川支流
426	石崎川の滝	石崎	自然	川	○							
427	石崎右股川の上流の滝	石崎	自然	川	○							
428	桂沼	石崎	自然	川	○			○				
429	右股川	石崎	自然	川	○							
430	大滝	石崎	自然	川	○							石崎小砂子間にある滝。国道からの確認は難しい。
431	小滝	石崎	自然	川	○							石崎小砂子間にある滝。国道からの確認は難しい。
432	石崎漁港と夕日	石崎	景観	景観	○							
433	初神大橋付近より夕日	石崎	景観	景観	○							
434	比石館跡より望む石崎漁港及び市街地眺望	石崎	景観	景観	○							
435	比石館跡より望むラストッペ岬方面	石崎	景観	景観	○							
436	石崎漁港	石崎	景観	場所	○	○						昭和9年に完成。昭和58年まではトンネルを通り出漁してた。現在は、石崎川沿いの水路を利用している。
437	石崎八幡神社の黒松、ケヤキ	石崎	いのち	植物	○							
438	法香寺の黒松、榎、シンパク	石崎	いのち	植物	○							
439	石崎奴	石崎	まつり	伝統				○	○	町無民		道中振りで長柄の熊毛の槍を振り立てて、上の句と下の句を掛け合いながら行進する。
440	若葉小中学校跡	早川	歴史	遺跡	○							昭和15年に早川小学校の特別教授場として開設され、昭和18年に独立開校。中外鉦山の盛衰とともにし、昭和61年に閉校。

●マイ文化財一覧（海方面・小砂子）

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
441	日方泊灯台	小砂子	歴史	有形	○							初点灯が昭和46年11月の灯台で海の交通の安全を守る。
442	小砂子小中学校	小砂子	歴史	有形	○							明治17年に開校。中学は昭和63年に早川小学校に統合し、小学校は平成25年に休校し、平成27年閉校。
443	小砂子の地蔵講	小砂子	歴史	無形	○							毎年10月23日に行われており、小砂子沖の難破船から流出し流れ着いた地蔵を祀っている。
444	小砂子遺跡	小砂子	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（早期・後期）
445	相泊2遺跡	小砂子	歴史	遺跡	○							遺物包含地、縄文（後期）・土器20点

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
446	相泊墓地遺跡	小砂子	歴史	遺跡	○							遺物包含地
447	ちいさごが島（小人伝説）	小砂子	歴史	伝説	○							小砂子の地名の由来となった伝説。菅江真澄が記した旅行記「蝦夷喧辞弁」によると、相当昔に磯山の土を採りに身丈三尺くらいの男がやってくるのを見たことといわれる。
448	小砂子のけんちん汁	小砂子	食文化	伝統	○							ゼンマイや切り干し大根、大量のヒジキなどを油で炒めてからしょう油で煮る小砂子地区の郷土料理。地蔵講や小正月などに作られる。
449	小砂子のホッケ干し	小砂子	食文化	伝統	○							港で水揚げしたホッケを寒風にさらして十分に水気が抜けるまで干してある。
450	サメ飯寿司	小砂子	食文化	伝統	○							サメの調理法（食べ方）一つ。
451	小砂子の砂浜	小砂子	自然	海浜	○							
452	日方泊岬	小砂子	自然	海浜	○							小砂子地区内の岬で灯台も設置されている。
453	トド岩	小砂子	自然	海浜	○							トドが群れている岩※場所の確認が必要
454	相泊川の滝	小砂子	自然	川	○							
455	相泊川の小砂子2号橋付近からの景色	小砂子	景観	景観	○							
456	小砂子漁港のホッケ水揚げ風景	小砂子	景観	景観	○							秋から春にかけてみることができる。
457	小砂子バス停付近から見る海	小砂子	景観	景観						○		渡島大島・小島方面
458	ドアサ橋付近パーキングから見た日方泊岬	小砂子	景観	景観	○							
459	日方泊岬から見た松前方面の景色	小砂子	景観	景観	○							
460	小砂子トンネル付近から見た風景	小砂子	景観	景観	○							トンネルの出口付近（松前・石崎両方向）
461	小砂子漁港	小砂子	景観	場所	○							昭和57年に漁港関連道が作られてから、漁港の整備が進む。

●マイ文化財一覧（複数の地区にまたがるもの、地区分類できないもの）

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
462	北前船		歴史	有形			○					江戸時代の交易船。西廻り（日本海）と東廻り（太平洋）のルートがあるが、西廻りが主であった。
463	夷狄商拍往還之法度		歴史	有形	○							16世紀の渡島半島において取り決められた講和で、船の往来などを定めてたもの。この際に知内から天河までを和人地とする。
464	上高カルタ		歴史	有形			○					マイ文化財調査を兼ねてカルタづくりを取り組む。
465	ガイド協会カルタ		歴史	有形	○							
466	アイヌと和人の歴史		歴史	無形			○	○	○			勝山館跡周辺からアイヌ墓やイクパスイなどが出土していることから、アイヌと和人が交流していたと考えられる。
467	クサヤキ（通夜葬式前に遺体を荼毘にふす）		歴史	無形	○							通夜・告別式前に遺体を荼毘にふす道南地方独特の風習で昭和40年代から行われるようになる。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
468	地名の唄		歴史	無形	○							上ノ国から寅ノ沢までの地名を折り込んだ唄で、松前じょんがら節として、太鼓やはやし興に乗って楽しんだとも言われる。
469	松迎え		歴史	無形	○							
470	山子（ヤマゴ）の仕事		歴史	無形	○							立木の枝払いや伐採、搬出など林業に携わる人を山子と呼ぶ。
471	アイヌ語地名		歴史	無形	○							アイヌ語地名が多く残る。
472	旧江差線廃線跡と各駅		歴史	遺跡	○	○						昭和10年に湯ノ岱まで、昭和11年に全線開通。町内には上ノ国駅、桂岡駅、湯ノ岱駅、中須田駅、宮越駅、神明駅があり、平成26年に廃止。
473	コシヤマインの戦い		歴史	遺跡			○	○	○			小刀の出来栄えをめぐり和人がアイヌの少年を刺殺したこと原因で始まった戦い。
474	縄文時代～続縄文時代の遺跡		歴史	遺跡	○							遺構跡や上ノ国式土器、石器などが確認されている。
475	門昌庵		歴史	伝説	○							松前伝説の怪談で十世矩広の話。柏巖和尚の首を運ぶときに、天の川を渡ることができず一泊したら、江差の円通寺本堂を焼いた。
476	投槍の名人		歴史	伝説	○							早瀬に住んでいた久末桃太郎や石崎生まれの大沢多治郎兵衛が投げやりの名人として名が挙がる。
477	ばけものの臼		歴史	伝説	○							木の節が目・鼻・口・耳に見える臼の話。
478	三升飯		歴史	伝説	○							神明の沢に佐々卯之助という男がおり、一度に三升を炊いて食べると、3日間何も食べずにいても飢えた感じがしなかった。槍でついた熊は26頭に達する。
479	小豆と甘納豆入り赤飯		食文化	伝統	○							北海道独特の食文化で、上ノ国町内でも小豆を使う家と甘納豆を使う家とで分れる。
480	上ノ国の山菜を使ったおでん		食文化	伝統					○			とても美味しい具があって暖かいから。一般的に具材のほか主にゼンマイやタケノコ、フキ、ワラビが入る。
481	かたこ餅		食文化	伝統	○			○	○	○		うるち米ともち米を混ぜて粉にして、砂糖や黒砂糖を入れてこねて、木型に抜いて、蒸した郷土料理。彼岸などに作られる。
482	上ノ国の郷土料理		食文化	伝統	○							親の代から伝わっており、知って欲しい。古くから伝わるのは、クジラ汁、つぼっこ汁など。
483	クジラ汁		食文化	伝統	○		○		○			正月などハレの日に食べられる郷土料理。フキを使う地域とニオウを使う地域がある。上ノ国の沖でもくじらは捕れる。
484	こうれん		食文化	伝統	○	○	○	○	○	○		うるち米ともち米を蒸してから砂糖などつき伸ばした、天日干しする。長期保存が可能で、焼いたり、油で揚げて食べる。
485	ゴッコ汁		食文化	伝統						○		冬場に食べられる郷土料理。ごっこは12月～2月上旬に水揚げされる。
486	山菜採り		食文化	伝統	○							町内の割が山林を占められており、四季折々の山菜を楽しむことができる。
487	野生動物の調理（ジビエ料理）		食文化	伝統	○							昔より鹿や熊を仕留めると鍋料理などにして食べた。
488	てっくい井		食文化	伝統			○	○				ひらめの刺身井。
489	べこもち		食文化	伝統					○			うるち米ともち米を混ぜて粉にして、砂糖（黒砂糖）を入れてこねて、型を抜いて、蒸した郷土料理。
490	ホッケのすり身汁		食文化	伝統			○	○				ホッケをつかった料理で、漁業を営む家で多く作り食べられる。
491	イカ塩辛		食文化	伝統	○							スルメイカ

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
492	ニンジンの白和え		食文化	伝統	○							甲事に振る舞われる伝統食だが、現在ではあまり作られない。
493	豆漬け		食文化	伝統	○							茹でた枝豆を1ヶ月から2ヶ月漬け込んだもので、この地域周辺でのみ作られる。
494	味噌		食文化	伝統	○							主に豆味噌が食べられており、地区によっては一から手作りする。
495	ヒラメの切り込み		食文化	伝統	○							数日間真水にさらしたヒラメの身を塩や麴、荒南蛮などで3週間程度つけ込んだもの。
496	クジラ素麺		食文化	伝統	○							ハレの日に振る舞われ、出汁に塩くじらが使われている。
497	ニシン漬け		食文化	伝統	○							身欠きニシンを使った漬け物で、大根や人参、白菜などとともに麴と塩で漬け込んだもの。
498	ホッケの煮付け		食文化	伝統	○							しょう油やショウガなどを入れて煮付けられている。普段から食べられている。
499	海の風		自然	海浜				○				
500	寛保津波の痕跡	石崎～原歌	自然	海浜	○							寛保元年（1741）に渡島大島の噴火が原因による津波が発生し、石崎地区が壊滅するなど大きな被害を受けた。
501	ヤマセ		自然	山	○			○				春先に特に強く吹く東風。春～秋に特に強く吹く東風。上ノ国町の場合は、天の川によって形成された谷地形に木古内側から吹き抜けてい
502	駒ヶ岳 d 火山灰		自然	山	○							見水17年（1040）に噴火した北海道駒ヶ岳の火山灰が上ノ国も降り注いだ。
503	温泉成分		自然	川					○			湯ノ岱温泉は、ナトリウム・カルシウム-塩化物炭酸水素塩泉（中性低張性温泉）、花沢温泉は、ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉（弱アルカリ性低張性高温泉）
504	海（日本海）・山（夷王山）・川（天の川）		自然	川	○			○	○			当たり前に見ている風景だが実は凄い。
505	ショガキ	内陸部	景観	景観	○							昔、冬場の北西の風をよけるために各家などが覆われていた。
506	漁火		景観	景観			○		○			
507	カミゴンバス		景観	景観	○							JR江差線廃止に伴う代替バスで平成26年4月から運行されている。車体にはカミゴンのほか江差町と木古内町のゆるキャラが描かれている。
508	旧江差線の駅裏風景		景観	景観					○			天気の良い日はキラキラ光っているように見える。駅裏とは上ノ国駅の駅舎と反対側にある住宅街を指す場合が多い。
509	水田に写る空		景観	景観	○							水を張った水田に写る青空や夕日がとてもきれい。
510	道道江差木古内線		景観	景観	○							江差～木古内間を結ぶ道路で昭和29年に道道認定される。実延長41.9キ。。
511	トッペ沢橋下		景観	景観	○							
512	波の花		景観	景観					○			海中にただよう植物性プランクトンに含まれる粘液が海の波にもまれて、石鹸状の泡となる。汚れていると発生しない。
513	日本海に沈む夕日		景観	景観	○			○	○			町内の海岸線は、
514	晴れた風の強い日の夕日		景観	景観				○				
515	前浜のきれいな海		景観	景観					○			
516	山道		景観	景観	○							ふらっと散策できる。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
517	正月しめ飾り		景観	景観	○							以前は手作りしていたが、近年は作り手が減っている。
518	イカ水揚げ		景観	景観	○							昔からよく採れており、大量に獲れた時は地域総出でイカを開いて、干していた。
519	プール		景観	場所					○			上ノ国と河北の2箇所ある町営のプール
520	保育園		景観	場所						○		上ノ国と河北にある町立保育所。以前は湯ノ岱、滝沢、石崎、中外にも保育所があった。
521	ポケモンGO対応マップ		景観	場所					○			ゲームアプリであるポケモンGOのポケストップやジムの位置を地図にまとめたもの。
522	はさがけ		景観	景観								米などの穀物や野菜を刈り取った後に束ねて天日干しさせるよう、木材などに柱を作り横木を何本か掛けて作ったもの。
523	上ノ国の元気な浜のぼっちゃん		いのち	人			○					上ノ国のぼっちゃん、かあさんたちは元気。かかあ天下である家が多い。
524	木村隆吉		いのち	人	○							大正末期から昭和初頭にかけ機械漁船を導入した先駆者。漁船を次々と新造したり、漁法を改めたりし漁業の発展に貢献した。
525	新村久兵衛		いのち	人				○	○			文化13年(1816)江差町で生まれ、安政2年(1855)の北村地区を皮切りに下中須田地区など各地で新田開発を行う。
526	武田信廣		いのち	人				○	○	○		永享3年(1431)生まれの若狭国出身。コシャマインの戦いで活躍し、その後、勝山館を築く。松前藩繁栄の礎を築く。
527	タリコナ夫婦		いのち	人	○							天文5年(1536)に勝山館に攻め入るも、和睦を装った宴席で夫婦ともに討たれる。
528	南条広継		いのち	人					○			享禄2年(1529年)生まれ。勝山館の城代を務めるも謀反の疑いをかけられ無実を訴えながら自害する。
529	農家の人		いのち	人					○			とても働き者だから
530	松前慶広		いのち	人					○			天文17年(1548)生。松前藩初代藩主となる。
531	若い農業の担い手		いのち	人	○							彼らが頑張っていることをもっと知って欲しい。
532	菅江真澄		いのち	人	○							江戸時代後期の旅行家。『えみしのさえき』に上ノ国に関する記載をしている。
533	コシャマイン		いのち	人								コシャマインの戦いのアイヌ側指導者。道南の和人の館をつぎつぎと攻略するも、武田信広の反撃にあい七重浜で討たれた。
534	蠣崎光広		いのち	人								武田信広の嫡子で、永正11年(1514)に松前の大館に拠点を移している。
535	蠣崎季繁		いのち	人								花沢館城主。コシャマインとの戦いの際には、武田信広とともに館を守り抜いた。
536	蠣崎高広		いのち	人								沼館城主で、蠣崎元広が松前の大館に拠点を移して勝山館城主となる。
537	蠣崎基広		いのち	人								勝山館の城代を務めるも、謀反を企て討ち取られる。
538	蠣崎義広		いのち	人								第3代当主。交易で対立していたアイヌと抗争を繰り広げる。
539	蠣崎季広		いのち	人								第4代当主で家督を継いだ際、蠣崎基広が謀反を企てる。アイヌと和睦を結んだり、安東氏から独立を果たす。
540	ジェロニモ・デ・アンジェリス		いのち	人								イタリアの宣教師。北海道に入った最初の神父で、残した地図に上陸地点の川を天河と記した。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
541	スポーツ少年団（空手、剣道、石崎ヤンチャーズ）		いのち	人	○							全国大会に出場し実績を残す（空手、石崎ヤンチャーズ）。設立以来50年以上を経過した団体（剣道）
542	海の幸		いのち	動物			○	○	○			
543	イカ		いのち	動物					○			昔より獲れており、昭和40年代始め頃までは、屋外にイカを干す光景が見られた。
544	石鯛		いのち	動物	○							
545	イタチ		いのち	動物					○			
546	イルカ		いのち	動物				○				沖合で確認することが出来、鯨の代わりに食べることがある。
547	馬		いのち	動物					○	○		おもにばん馬が町内で飼育されてる。農業が機械化される前は、農作業で活躍した。
548	ウミタナゴ		いのち	動物	○							
549	エゾシカ		いのち	動物				○	○			時期は確認されなかつたが、町内各所で確認される様になっている。
550	カレイ		いのち	動物	○							5月から7月にかけて釣ることが出来る。但し、赤ハカレイは11、12日
551	キタキツネ		いのち	動物				○	○			町内一円で見る事ができる。
552	キツツキ		いのち	動物					○			
553	クロゾイ		いのち	動物	○							3月4月と7月に釣ることが出来る。
554	サクラマス		いのち	動物		○						年に1度回帰するため、天の川伝説に合う。町の魚に推奨。毎年春に稚魚の放流を実施している。
555	エゾサンショウウオ		いのち	動物						○		
556	スケトウダラ		いのち	動物	○							主力魚種で12月から2月かけ水揚げされる。
557	タヌキ		いのち	動物				○	○			
558	テン		いのち	動物				○	○			
559	トド		いのち	動物				○	○			海岸線
560	ニシン		いのち	動物			○	○				江戸時代には大量に採れ、大正2年までは群衆が確認されていた。鯨にまつわる伝説もある。
561	白鳥		いのち	動物				○		○		冬期間、越冬のため訪れる。
562	ヒグマ		いのち	動物				○	○			町内の山林部で確認される。
563	ヒラメ（てっくい）		いのち	動物					○			てっくいと言われるのは手を食いちぎるほど歯が鋭いため。
564	ヘビ		いのち	動物					○			アオダイショウ、まむし、ツチグリなど町内一円で確認できる。
565	ホタル		いのち	動物			○					町内でも確認できる。また、以前は放流事業を実施していた。
566	ホッケ		いのち	動物					○			基本的には回遊魚だが、根付くものもいる。
567	エゾリス		いのち	動物					○			
568	ヒトビロ・キトビロ		いのち	植物	○							行者ニンニクとも言われ、早春の山裾で採ることができる。お浸しや炒め物などにして食べられる。
569	ハウレンソウ		いのち	植物					○			
570	カタクリ群生地		いのち	植物	○							小砂子地区などにカタクリの群生地が点在する。
571	山菜		いのち	植物	○			○	○			春から秋にかけて町内の山林で収穫することができる。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
572	町内銘木100選		いのち	植物	○							昭和53年、上ノ国町開基790年を記念して制定される。
573	ニリンソウ群生地		いのち	植物	○							
574	根曲がり竹（チシマ笹）		いのち	植物	○							小森、宮越、湯ノ岱の山岳部に主に生育している。6月頃になると大勢の人が収穫に訪れる。
575	フクジュソウ群生地		いのち	植物	○							
576	果物		いのち	植物					○			上ノ国の果物はとても甘くて美味しいから。
577	森林		いのち	植物				○				上ノ国町の面積の9割が森林である。
578	野菜		いのち	植物				○				
579	ブロッコリー		いのち	植物								
580	立茎アスパラガス		いのち	植物								
581	秋祭り		まつり	伝統	○							人を受け入れるのが上手。
582	祭り		まつり	伝統	○				○	○		色々な人が協力しているところ。祭りをはしごする子供たちは、各地区で歓迎され、子供を大切にする人の暖かさを感じる。
583	祭りの山車		まつり	伝統				○				町の多くの地区には山車があり、人形を飾っている。近年は、運行されない地区が増えている。
584	天下泰平		歴史	伝説	○		○					天河太平とも称し、太平山が鳴動し、天の川の河口が塞がると、天下によくない事が起こる知らせといわれている。
585	カミゴン		まつり	現代	○		○	○	○			「龍燈伝説」をモチーフにしたえぞ地の火まつりゆるキャラで、平成23年に誕生した。
586	遊び場が多い		印象						○			
587	暖かい気候		印象						○			北海道の中でも暖かい。
588	イベントが多い		印象					○				
589	海や川がきれい		印象					○				
590	空気が良い、美味しい		印象					○				
591	健康的		印象					○				
592	子育てしやすいまち		印象		○		○	○				保育料・給食費・医療費が無料で、自然が多く災害が少ない。
593	四季折々にお金がかからない楽しみがある		印象		○					○		クワガタ、セミ取りやクリ拾いなど。
594	四季の色々な匂い		印象						○			雪や波、緑などの匂いを楽しむことができる。
595	自然豊かで静か		印象		○		○	○	○			
596	自然が美しい		印象						○			四季折々の
597	自然を大切にしている		印象						○			
598	助け合い		印象					○		○		困ったときにみんなで助け合える。
599	食べ物が美味しい		印象		○			○	○			
600	釣り場が多い		印象		○	○			○	○		川や海で釣りが出来る。
601	特別な技を持った人がいること		印象						○			わからないやニオ積みなどの技を持った人を指す。

No.	マイ文化財名称	地区	大分類	小分類	世代別						指定等	備考
					大人	大学	高校	中学	小学	幼児		
602	土地が広い		印象				○					547.47㎡、全国で52番目に広い。町内の8割が山林が占める。
603	土地が安い		印象				○					平成29年に公表された地価基準は字大留148-10（店舗兼住宅）で11,500円だった。
604	星がきれい		印象				○					流れ星も見える。
605	みんな優しい		印象		○	○	○	○	○			人が暖かい、近所の人が家族のよう。
606	昔話・伝説が沢山ある		印象		○							町内一円に様々な伝説や昔話が伝えられている。
607	野鳥が多い		印象		○							天の川では白鳥などの渡り鳥を見ることができる。
608	歴史ある町		印象		○		○	○				